

目標金額まで後わずか

手術支援ロボット導入



▲感謝の言葉を口にする
松野院長
▶クラウドファンディング
受付窓口



「ヒノトリ」を導入する
産初の手術用ロボット
濟生会今治病院が国

ため、7月3日から行っ
ているクラウドファン
ディングに、多くの入
から寄付があり、8月
2日時点で850万円
以上が集まっています。

手術支援ロボットを
使うと、前立腺癌や直
腸癌など狭い場所を拡
大して見ながら手術す
ることができ、手術の
傷跡も小さくできるな
ど、さまざまなメリッ
トがあります。
同病院では手術がで
きる泌尿器科の常勤医
師も2人体制にできる
よう動いています。

クラウドファンディ
ングはサイトだけでな
く、1口3000円か
ら病院の入口付近でも
直接受付を行っています。
「ありがたいこと
に、1000万円まで
後わずかとなりました。
大変感謝しております。
8月末までよろしくお
願いいたします」と松
野剛院長は話していま
す。

濟生会今治
松野院長

「多くのご支援に、感謝」

8月31日まで
クラウドファンディング

濟生会今治病院は手術支援ロボットを導入するためクラウドファンディングを行い、話題となっています。目標金額は1000万で、後わずか。募集期間終了は8月31日となっています。



▲クラウドファンディングの詳細情報はこちらから